

30年度の学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>①将来の目標を持たせ、生徒の能力を最大限に伸ばす。 ②自律の精神を培い、望ましい社会性を養う。 ③多様な生徒へのきめ細かな対応を組織的に行う。 ④創立100周年記念行事の意義を周知し、円滑に実施する。 ⑤PTA、同窓会及び地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。 ⑥組織及び個人の両面におけるコンプライアンスを徹底する。 ⑦円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>総務</p>	<p>①広報活動の充実 ②防災意識の向上 ③学校と保護者の協力体制の充実 ④創立100周年に向けた事業の推進。</p>	<p>・HP掲載手順の明確化 ・防災教育の研究と実践 ・PTAの情報交換を密にする。 ・PTA、同窓会との連携。</p>	<p>・HP掲載手順が明確になり更新頻度も高まったが、保護者からはより早期の更新を求める声がある。 ・次年度は、大規模災害を想定し、帰宅困難な生徒への対応策や備蓄食料の利用方法なども研究を進める。 ・PTAの役員会、理事会を通して、学校の指導についての理解を得るよう心がけた。 ・100周年記念式典も全職員の協力のもと無事終わり、残務処理と今後の式典に向けての記録の保存を行っている。</p>
<p>学習指導</p>	<p>①65分授業の充実 ②個々の生徒に応じた学習指導の確立</p>	<p>・個々の教員が教科指導力を向上させ、授業改善を図る。 ・多様化する生徒に対応しつつ、生徒が主体的に学習する姿勢を育てる。</p>	<p>・1月に生徒に対して授業に関するアンケートを実施し、各教員が自身の授業を振り返る機会を設け、授業改善の一助としている。今後は、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、準備を進めたい。 ・1月に生徒の実態調査を実施し、生徒の学習状況を把握するとともに、各教科の指導法の研究・継承を図っている。今後は、学校に十分適応できない生徒への対応・支援が課題である。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>①基本的な生活習慣の確立 ②安全確保の推進 ③規範意識の醸成 ④教育相談の推進 ⑤いじめ防止対策の推進</p>	<p>・欠席、遅刻、早退の理由を把握し、適切な指導を行う。 ・生徒の安全を考え、組織的に対応する。 ・生徒に交通安全に対する意識を高めさせる。 ・公共でのマナーの意識の向上。 ・あいさつの励行 ・高校生らしい身だしなみを日常的に意識させる。 ・予防的な教育相談活動に取り組む。 ・不適応生徒を早期に把握し、組織的な対応を図る。 ・いじめの未然防止、早期発見・適切な対応につながる方策をとる。</p>	<p>・5年前、遅刻数最低を記録したが、その後ほぼ横ばいから増加傾向にある。クラスへの呼びかけ、朝の立番指導などを通して遅刻防止を働きかけたい。 ・防犯や交通安全に対して、意識が甘い生徒が存在する。不審者情報の周知、盗難などからの自己防衛、生徒交通委員による街頭指導や駐輪指導、交通マナー遵守の呼びかけを引き続き行う予定である。 ・あいさつの呼びかけ、高校生らしい身だしなみ、公共の場でのマナーについて集会時などを利用して繰り返し注意している。指導してすぐに改善されるものでもなく、根気よく繰り返し指導し、マナーの向上を図りたい。 ・生徒観察や保健室利用状況、アンケート等により各学年や保健部・SCと連携をとって配慮を必要とする生徒の把握・対応を行なっている。 ・個々に状況が異なるため、個に応じてカウンセリングマインドを持った対応を心がけた。 ・生徒観察やいじめアンケートの実施により早期発見の一助としている。 ・未然防止の方策を検討し、特にSNS上の表面化しない、いじめの把握方法を考えたい。</p>

進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ①進路選択能力の育成 ②進路に応じた進路設計 ③進路目標の堅持と幅広い視野の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談、進路相談の充実 ・適切な資料提示 ・進路検討会・入試情報交換会の充実 ・入試制度改革への対応準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路検討会・学年進路検討会等を通して情報を共有し、その情報を元に担任面談を実施した。また、実力考査ごとの進路アンケートを通して、進路目標や家庭学習の時間を把握し、指導に生かした。 ・適切な時期における進路情報の発信と、先を見通した進路指導に努めた。 ・生徒に向けて各種の説明会や見学会を実施した。進路を早期に限定して自ら進路の幅を狭めないよう、適切な指導を加えるように努めた。 ・今年度より英語の4技能試験を実施した。入試改革に向けて、今後も各大学の動向を注視したい。
生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> ①部活動の充実 ②生徒の力で作り上げる生徒会行事 ③伝統の継承と発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・部顧問会議と部長会議を有効活用する。 ・生徒会執行部を中心とした指導体制の確立。 ・生徒の力で各種行事が運営できるように意識を高めていく。 ・伝統の継承が、旧套墨守にならないようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各顧問の指導のもとに活発な活動が行われ、多くの部活動が県大会に出場した。また学習時間の確保のため、顧問有志による下校指導を行い、時間通りの下校に努めた。 ・生徒会執行部・各実行委員長、運動文化両委員会の活動のもとに、クラスマッチ・学校祭を企画・実施することができた。しかし、生徒が指示を待つことが多くなったようにも感じており、積極的に意見を出し合い、よりよいものを作り上げられる関係を構築させたい。 ・体育祭でのマスコット製作や応援の振り付け等で上級生から下級生へ、また、卒業生から在校生へと指導がされ、伝統が継承されていると感じる。
学校図書館	<ul style="list-style-type: none"> ①図書館の利用機会、利用者数の増加 ②利用しやすい図書館作り ③視聴覚室の機器の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、LTでの図書館利用をよびかけ、広報活動、図書委員会の活動を充実させる。 ・利用しやすいよう館内の環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館たより」「新着図書案内」「図書館報」を定期的に発行し、情報発信に努めている。図書館行事（オリエンテーション、ビブリオバトル、蔵書点検、古本バザー等）も順調に進められた。一方で、不読率は40%に上っている。生徒の活動にも限界があるが、少しでも図書館に生徒を呼び込めるような活動を目指したい。
学校保健	<ul style="list-style-type: none"> ①美化活動の充実 ②環境問題取り組みの充実 ③保健・安全教育の充実 ④保健安全指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃・特別清掃を充実させる。 ・ゴミの減量・分別、古紙回収を徹底させる。 ・生徒保健委員会活動の充実 ・心身の健康や安全指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃は教員・生徒の協力により実施できている。6月・10月の美化活動、9月のスノコ清掃も予定通り実施できた。 ・ゴミ分別は全校生徒にプリントを配布し、回収場所に清掃当番生徒と保健委員生徒が毎日立ち、意識の向上を図った。 ・生徒保健委員会では、水質検査、各種予防ポスター・保健だより作成などを行った。6月には、部活動代表者や群団代表者に、AED利用などの安全講習会を実施した。また熱中症予防のため、毎日の予想最高気温を渡り廊下等に掲示した。 ・成績、進路など様々な悩みを抱える生徒が増加傾向にある。健康観察や、学年会との情報交換を密に行い、スクールカウンセラーを中心にした教育相談の充実を図りたい。
SSH	<ul style="list-style-type: none"> ①課題研究の充実による生徒の探求力の向上 ②生徒の自己理解を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究心、論理性、コミュニケーション力の向上を目指した指導を実践する。 ・生徒が自身の変容を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年課題研究では、生徒自身が評価基準を作るルーブリック作成プログラムを実施した。また2月の全体発表会では、より多くの発表、見学が行えるよう実施方法を工夫していく。 ・今年度、他校の実践でも生かしてもらえよう課題研究の教材集を作成した。また、教員研修会では理数の内容だけでなく、コーチング等の汎用性の高い実習も取り入れた。

ファッション創造科	<ul style="list-style-type: none"> ①各専門分野の専門的知識・技術の習得 ②創造力・判断力・表現力・実践力の育成 ③地域社会に貢献する人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションや保育に関する専門的知識・技術を習得させる。 ・豊かなライフスタイルを創造する能力や実践力等を育成する。 ・地域社会が求める資質や能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各コースの専門性を向上させるための基盤作りに努めている。保育の校外実習の体験は、実践力を養う点で大変勉強になっている。今後は技術検定の合格率を高めていきたい。 ・インターンシップ、一宮市主催の繊維振興学生視察事業、おいちまつりのファッションショー参加など、地域との連携を通して総合力を高めるとともに、地域社会に貢献する人材の育成に努めている。 ・中学校教員向け学科説明会、文化祭での作品展示、学科パンフレットの配付などを行い、学科の特色やコンテスト結果などのPRに努めた。
1年	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎学力の涵養と発展的な思考への意欲の育成 ②学習、特別活動における仲間と切磋琢磨する経験 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学習法の設定 ・人間関係の構築 ・学びの環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の育成については、課題、土曜講座、長期休暇の補習等により、着実に進めることができた。発展的な思考については、SSH課題研究を通して主体的な探求活動を経験させることができた。この後のポスターセッション、論文作成においても、さらに意欲的な取り組みを期待している。 ・学校祭、クラスマッチなどに積極的に参加し達成感を得た。今後は家庭での学習時間の確保し部活動などとのバランスを取らせることに努め、入学前の描いていた理想と現実の差に悩む生徒に適切な助言を与え、目標を持たせるよう指導したい。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ①自己管理能力の向上 ②高い進路目標と教養の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的かつ効率的に時間を使う能力、社会的ルール、マナーを遵守する態度の育成 ・進路の探求と自分を高めるための諸活動への積極的な参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科は文理に、ファッション創造科はコースに分かれ、個々の生徒が将来の夢に向けて一歩ずつ進もうという姿勢が感じられる。 ・修学旅行や学校祭での経験を経て、ルール遵守の意義、他者への配慮、自律心の大切さをより意識できるようになった。一方、学習面、部活動、行事との関わり方、など自分の立ち位置に迷いを感じ、悩む生徒が皆無ではなく、今後も生徒の立場で寄り添って指導していく。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ①挑戦する心の育成、仲間との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標における自己実現 ・社会人としての自律 ・社会的リーダーとしての自覚 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭においては、台風の影響で制作物の破損が続くという、心身ともに困難な中、最高学年として学校祭を作り上げた気概を評価したい。 ・生徒の、自分で学習できる能力、学習しようとする意欲をどのように育成するか。また、多様化する進路情報や生徒の心のあり方、保護者の学校への期待をどのように組織として共有し、生徒に還元できるか、が課題である。
総合評価		<p>今年度は100周年という区切りの年であったが、SSHの新たなプログラムの開始や英語4技能試験の実施など、新しい時代を見すえた取り組みが始まる年ともなった。教育改革や生徒の多様化などの新たな変化に対応して、各分掌・学年が議論を重ねて前進を図る姿勢は、今後につながるものと評価できる。今後も伝統を継承しつつ細かな改善を積み重ね、より充実した教育活動ができるよう努めたい。</p>	